



NEWS RELEASE

平成22年 10月20日

各位

会社名：株式会社 高田工業所
代表者：代表取締役社長 高田 寿一郎
コード番号：1966 大証第2部・福証
問い合わせ先：総務部長 深町 雪登
TEL：093-632-2631

当社の電流診断技術が JIPM の TPM 優秀商品賞（開発賞）を受賞

当社で開発してきました電流診断技術（商品名「電流情報量診断システム T-MCMA」）が、JIPM（社団法人 日本プラントメンテナンス協会）の TPM 優秀商品賞（開発賞）※¹を受賞することが、平成22年10月19日に決定致しました。

1. 経緯

石油化学、製鉄などのプラントや工場において、設備の故障やトラブルを未然に防ぎ、設備を安全に運転するために、メンテナンスの役割は非常に重要になっています。故障やトラブルを未然に検知し寿命を延ばすために、設備の劣化状態を的確に把握する「設備診断」技術が必要とされています。

各種（振動・油・温度・音響・超音波・etc）の設備診断技術の中で、現在は、振動による回転機械※²の状態診断方法が一般的に広く使われています。しかし、振動を計測するためには、機器本体へのセンサーの取り付けおよび配線作業が必要で、コストも高くなります。また、液中の回転機械、高温・高湿環境下での回転機械、原子力設備、毒・劇物などの危険物エリアの回転機械およびロボットについては、振動の計測が困難であり、有効な診断方法が確立されていないため、新しい診断技術・商品が求められています。そこで、当社では回転機械の中で約70%を占めるモータを対象とした、電流の多重解析による回転機械系の高感度状態診断技術を開発しました。

2. 当社の電流診断技術

今までの電流診断技術はモータに流れる電流の波形を分析し、電源およびモータ本体の診断しか適用できませんでしたが、当社の電流診断技術では、電源およびモータ本体だけでなく、ポンプ、ファンなどの負荷側機器の状態も診断することができます。

当社の装置は、機器設置現場ではなく、電気室の電気盤内にセンサーを設置できるため、現場環境に左右されることがなく、集中して複数台の機器の状態を監視・診断できます。また、機器本体へのセンサーの取り付けおよび配線作業が不要なので、低コストで状態診断が可能となります。

3. 販売先（市場）

- ① 石油化学：一般回転機械、特に液中回転機械、毒・劇物エリア回転機械
- ② 鉄鋼：一般回転機械、特に高炉周辺と熱延ラインの高温・高熱設備

- ③ 電力：一般回転機械、特に原子力発電所用回転機械
- ④ 公共施設：一般回転機械、特に高温、高湿、有害ガス、液中、断続運転回転機械
- ⑤ 自動車：一般回転機械、生産ロボット、電気自動車の駆動モータ



4. 事業計画

- ① 発売開始時期-----来春予定
- ② 販売価格-----未定

(注) 本件の内容は、発表日時点の情報です。発売時点で内容が変更になっている可能性がありますので、あらかじめご了承下さい。

[語句説明]

- ※ 1 JIPM (社団法人 日本プラントメンテナンス協会) のTPM優秀商品賞
 TPM 優秀商品賞とはメンテナンス機器に関する新技術の開発を奨励し、メンテナンス技術の進歩を促進することを目的として制定されており、開発賞と実効賞の2賞が設けられています。
 - ・開発賞：アイデアと先行性・独創性に優れている商品
 - ・実効賞：市場において優れた実績がある商品

☆JIPM (社団法人 日本プラントメンテナンス協会) のホームページをご参照下さい。

<http://www.jipm.or.jp/>

※ 2 回転機械

回転機械とは機械システムを、静機械と動機械に区別した場合の動機械に含まれ、その中で最も広く用いられている機械要素であり、回転軸系を包含する機構を意味し、様々な分野で使用される機械、装置およびシステム、あるいはそれらのユニットを含むもの。

本件に関する問い合わせ先 :

株式会社 高田工業所 総務部長 深町 雪登 電話：(093)632-2631

以上